

ほけんだより

尚徳福祉会 とちょう保育園



新型コロナウイルスの報道でご不安の方も多いと思います。すでに市中感染が起こっているらしい現段階では、封じ込めは困難です。今の情報では乳幼児の重症化報告はありませんので、動揺せず、飛沫・接触感染予防や人ごみを避けるなどの対策を続けることが重要です。

これから暖かい日も増えていきますが、自律神経が乱れやすい季節の変わり目は、食事・活動・睡眠のバランスが大切です。新しい年度に元気なスタートが切れますよう、そしてウイルス感染対策にも！！体調を整えていきましょう。職員も以前よりウイルス対策としてアルコール消毒剤を個人携帯して保育にあたっております。

耳かき中の事故にご注意！

東京消防庁管内では、平成 26 年から 30 年までの過去 5 年間に耳掃除をしていて受傷した事故により、319 人が救急搬送されています。年齢層別で見ると、0～4 歳の乳幼児が 126 人で、突出して多くなっています。0 歳～5 歳の受傷状況をみると、1 歳では“自分で耳かきをしていた（耳に入れていた）”が最も多く、その他の年齢では、“誰かに耳かきをしてもらっていた”が最も多くなっています。

事故を防ぐために…

- 綿棒や耳かき棒を耳の奥まで入れ過ぎないようにしましょう
- 子どもの耳掃除をする際には、急に動いたりしないよう声をかけておきましょう
- 幼児のいる家庭では、綿棒や耳かき棒を乳幼児の手が届くところに置かないようにしましょう
- 耳掃除をしている時は周囲の状況にも注意しましょう。子どもやペットがぶつかってくるかもしれません
- 耳垢が取りづらい時などは、無理をせず耳鼻咽喉科等の受診も考慮しましょう（東京消防庁サイトより）

東北医科薬科大学『市民向け感染予防ハンドブック』は具体的でおすすめです！

詰まっている耳垢が見えることもあります、
耳掃除は綿棒で入口から 1～1.5 cm 程度まで。

きれいに取れなくても、「じっとしてえらかったね！」と声をかけましょう。深追いは禁物です。

3月3日は耳の日

新型コロナウイルス対策で今できること

ナースショートコラムその⑤

政府の感染症対策本部は2月25日、『今後の国内での健康被害を最小限に抑える、極めて重要な時期』と発表しました。

日本感染症学会によると、新型コロナのウイルス量は、インフルエンザに比べ 100 分の 1～1000 分の 1 と少なく検出しにくいとのこと。また新型コロナのワクチンも抗ウイルス薬もまだありません。

まずは手洗いを徹底することが予防の基本です。アルコール消毒剤（濃度 70%以上）も有効です。さらに十分な栄養や睡眠などで体調を整え、免疫力を高めることも大切です。

また SNS で拡散される情報にもご注意を！WHOは、新型コロナウイルスに関する根拠のない事例をサイトで説明しています。『中国からの手紙や荷物を受け取っても安全か→安全』『ニンニクを食べると予防に役立つ→根拠なし』などです。

今期のインフルエンザ流行の減少は、新型コロナ対策のマスクの着用や手洗いなどを徹底した影響が指摘されています。一人ひとりができることをすることで一定の成果が得られた証明です。園でも引き続き感染対策を行っていきます。ご協力をお願いいたします。

身長・体重グラフを配ります

身体測定値を記入したグラフを配ります。園医によると、どの線かに（個人差があるため）沿って伸びていれば、順調に成長しているとのこと。お子さんの年間の成長をご確認ください。

身体測定 3月17日（火）

0歳児健診 3月26日（木）11:00～

今月の保健行事